

かぐらおか

(題字は前学長 山田守英氏)

第 35 号

昭和58年 3月15日

編集 旭川医科大学
厚生補導委員会
発行 旭川医科大学教務部学生課



(写真撮影 学生課 小濱郁子)

旭川冬まつり

内 容

卒業生を送るにあたって……………黒田一秀…2	昭和57年度講演会一覧……………9
卒業生を送るにあたって……………石井兼央…3	学生証の査証について……………9
卒業に当たって……………門 正則…4	スキー教室……………9
卒業に当たって……………中村恵子…4	学友会旗作成……………9
“嗚呼!!卒業”……………水本博章…5	サークル紹介……………9
研究室紹介……………菊池雄三…6	「かぐらおか」表紙写真募集中!……………18
1年のあゆみ……………7	窓外……………宮岸 勉…18



卒業生を送るにあたって

学 長 黒 田 一 秀

L'Amore che move il sole e l'altre stelle

- Divina Commedia, Paradiso, Canto XXXIII

第5回の卒業生誕生の時が来た。規定の履修課程を終え卒業要件を満たして、めでたく医学士と称することができるのである(学則第7章第26条)。人生における大切な、短くない期間を、諸君がこれから母校と呼ぶ、わが旭川医科大学で、いわば胎生期として過し、期満ちて学校から社会へ職業人として生れるのである。諸君を待ち構えていた実社会は新しい成員の誕生を迎えて喜びあふれてお祝するのである。

そのような比喩はとにかく、新卒諸君に、思い浮ぶ一二を述べて送る言葉としたい。

大学には教育基本法と学校教育法とがあり、設置基準があり、学則があり、学生準則があり、その他もろもろのきまりがあって、それを実行するための施設と教職員組織が用意され、勉学と学生生活の内容を保つようになっている。卒業生諸君にとって卒業要件を満たすのは、相当多忙な日々であったに違いない。それにしても、大学では一体何をしたのであったか、また逆に何をしなかったのかという問と反省は起るのではないだろうか。かつて教授職にあった88歳の老文学者が述懐するのを読んだ。「今88年をこの日本という国に生きて、何が一体、我々に欠けているかと考えてみると、それは<モラル>だと答えるのに私は躊躇しない。昔は孔孟の教えとか皇道精神とやらもあったけれども、今の我々には果していかなるモラルの拠りどころがあるのか。民主主義国ともなればそんなものは一切いらぬのか」と述べておられた。私達は驚くほど発達した技術社会のなかで、現在の医学を学んでいるが、その変転の激しさに驚くと同時に、医学校で心の問題を技術面でなくて根本において取扱うことはできないことに気付く。社会のモラルの欠如傾向も、教育が技術文化に片よっている当然の帰結ではないであろうか。過去において開発された人間生存のための英知のすべてを学校で伝承できるとは限らないことである。大切なことでカリキュラムになかったことがある。そのことを新卒者は覚えていてほしい。これから遅ればせながら勉強することは沢山あるのである。

卒後のコースに何を選択するか。これも難しいことである。学生諸君一人一人について何がふさわしいか決めてくれるような特定の仕組はないのである。研究者の道を択ぶか、臨床家になるか、専門医を目指すか、一般医になるか。専門指向といいながらも何科に入りたいら

いのか。自己の天職があるに違いない。しかし、納得のいくものが見当たらないとって、困惑する若者も少くないようである。これに対する答は一つあって一つしかない。これには思われる。それは心理テストとか家庭の経済状態とか係累の職業とかの諸因子をコンピューター分析して決めるのではないのである。内村鑑三が書いている「天職とは、天或は神が我等各自に授け給うた職であります。故にこれは天または神を識らずして識ることのできるものでないことは明らかであります。天に事へ、自己の職分を全うし、恭謙以て命を終へんと欲する者のみ天職は示さるるものであります」このことは有名無名の人々の伝記をケース・スタディとして見れば、その通りであることが分かるであろう。その日その日の生に対する謙譲な態度のなかに進路は啓示されるのである。この偉大な説教者のいうように「予め見附けて置いて然るのちに之に従事しようと思う人は終生その天職に入ることのできない人であります」だから、ためらうことなく今いるところに精を出して天職の人になって欲しいと思う。

以上2つのことを学窓の若人を送り迎えるたびに思い浮べるのである。この2つに共通して云えることは、どちらも論理の話ではないということである。学門の府は論理の場である。どんな問題も徹底論議を重ねれば解決できないことはない。それを放棄してはならないと云われる。その通り、論理は人間の理性に基づく、他者や自己に対する言語認識の手続で、それ自体誤謬はあり得ないことである。しかし、その人間の論理を支えるものは何であるのか。

わたしは、これ以上舌足らずの自説を押しつけるつもりはないが、人間の論理を支えるものは、天という言葉でも表わされるように、超越者と自己との関係の自覚だろうと、秘かに思うのである。

最後にダンテ神曲天堂篇の結びの章句を掲げたい。「わたしの幻想の力は、この高みには及ばなかった。しかし、わたしの願望と意志とはすでにめぐって、それを動かしたものは、さながら同じようにまわる車輪のように、太陽ともろもろの星をうごかす愛であった(三浦逸雄訳)

L'Amor che move il sole e l'altre stelle



卒業生を送るにあたって

石井 兼 央

卒業生諸君、なにはともあれ月並みな言葉だが「卒業おめでとう」とまず申し上げたい。6年前かあるいは6年以上前に諸君が医学の勉強に期待、希望と一抹の不安もあったかも知れないが胸をふくらませて本学に入学したであろうが、今日晴れやかに卒業証書を授与され、医学士になられたことはやはりおめでたいことである。諸君達よりはむしろ諸君の御家族の方々にとって感慨深いものがあるであろうと推察する。6年間の勉強、臨床実習は長かったろうが、今日の時点で考えるとあまり長いとは思えないという心境の人もいるであろう。ともかく諸君が医学部医学科の過程を今日で終了されたのである。5・6学年の2ヶ年学年担任であった私としても学年の大半が卒業という一段階をクリアされたことは嬉しいことであるが、一面では正直に言えば、ホッとしている心境でもある。諸君の心の中では今日の喜びにひたり切れないものがあるのではないだろうか。いわずと知れた4月の医師国家試験のことがあるからであろう。諸君の本当の嬉しさは国家試験に合格して医師免許証を手中にした時であろうと思うふしがあるからである。医師免許証を得ることを決して最終的な目標と考えている人は少ないことだろうと思うが、ほとんどの諸君にとって医学科課(過)程の最終的な試験であることは現実である。今日の卒業式後、短期間の頭脳冷却期間をおいてまた、ひとふんばりをしてほしいのは、学年担任としての最後の願いでもある。諸君、喜ぶ時は大いに喜びなさい。そして努力すべき時は精一杯努力しなさい。門は叩けば必ず開かれるのだ。

担当としての2年間をふりかえってみると、諸君のクラスは、なかなか面白い特色のあるクラスであったように思う。5年に進級してまもなくクラスコンパがあったし、卒業試験の最終日のコンパまで4回のクラスコンパがあった。いつも出席者が多く賑やかであった。このようなことは珍しいのではないかと思う。ビールを飲んで、わいわいがやがや“おだ”をあげる連中がたまたま集ったクラスなのかも知れないが、クラスのほぼ全員がよくまとまって仲がよく(例外もあったようだが)協調性に富み和やかなムードをもっていることは悪いことではないと思っていた。諸君はごく近い将来に医師として研究者としての一步を踏みだすのだが、極端な自己主張、利己主義的傾向は医師、研究者としての将来の成長を防げるであろうから、諸君全体の雰囲気は大変結構なことであると少々感心していた。しかし、一方では何事

につけ安易な協調、妥協も諸君の成長にとって好ましくないことであろう。諸君一人一人に臨床実習で接しても夫々自覚、節度のある成人であったから全くの私の老婆心にすぎないのであったと思うし、学年としての諸君のまとまりは卒業後も大いに生かして行ってほしい。諸君の一人一人は将来進まれる道は夫々違うであろうが、同級生としてお互いに協力し合うこともあることだろう。ついにかたいことをいうと、諸君は今後、どの分野に進まれても広い心で謙虚な気持ちを持ち続けるように心がけると同時に、自分の良心に従って学生時代以上に、(?)真剣な努力を積み重ねて人間としても、専門的職業人としても成長すべく、卒業にあたって改めて考えてほしいと思う。

諸君も十分承知していることであるが医学の進歩は文字どおり日進月歩である。医学に携わる者にとっては卒業後の努力が絶えず続けられなければ社会の要請する良心的な医療、医学研究が期待しがたいのが現実である。生涯教育、*Medicine is a long-life study* といわれるのは決して誇張した表現ではないことも今日の現実である。医学の分野だけではなく他の自然科学、人文科学でも同じことであるが、医学は人間を対象とした科学であることから社会はよりきびしい眼で諸君をみるであろう。

ついでもう一つ、かたいことを申し上げよう。諸君の一人一人が医師として研究者として周囲・社会から評価されるようになることは当然のことであるが、同時に諸君は旭川医科大学卒業生としても評価されるであろう。旭川医科大学の卒業生は“なかなかやるわい”との評価(諸君の先輩諸君は伝え聞くところによると評価が良いように思う)をなお一層あげてほしいものである。旭川医大卒業生のなかで特に5期生の評価が高いということがあってもよいのではないか。これからの諸君は自らの意志による活動が始まるのである。これからの長い人生である。健康にも留意し、良識・節度ある言動で自己の志を生かし社会に少しでも貢献できる人間であって下さい。諸君のgood luck, good healthを祈る。

(第6学年学年担当、内科学第二講座教授)

卒業に当たって



門 正 則

入学して6年が過ぎ卒業を目前に控え大学生活の意味したもの考える時、その解答がなかなか浮んでこないことに、我ながら何かやるせなさを感じています。原稿用紙を前にして悪戦苦闘しているわけです。自分にとって大学生活とは何であったか、とにかく過去をふり返って考えてみたいと思います。

旭川医科大学受験のため初めて大学を訪れた時の印象は、今でもはっきり脳裏に焼きついています。降り積もった雪の中にでんと構えた白亜の建物。今でこそあまり感じませんが、その大きさと新しさにはびっくりしたものです。そして何としてでも合格したいものだと思います。でもその気持ちはあまりにも漠然としていて、確固たる信念で裏打ちされていたものではありませんでした。お恥ずかしい事ではありますが、医学部とはどういう所か、自分は何のために医学部へはいろいろとするのかなどという事は当時真剣には考えてはいなかったのです。医師という職業の厳しさを知らずに安易な気持ちでいたことは否めません。入学後じっくり詰まったカリキュラムをみて反発を感じたのは、そういう安易な気持ちもあったからだとは今では思っています。

大学に入学して驚いたことは、既に他大学を卒業している人などさまざまな経歴の持ち主の人がいたことで。同じ学年として学んでいくことに最初異和感を覚えました。うまく1つの学年としてまとまりをもっていけるのだろうかと考えたりもしました。しかし、今では我が学年の連帯感はとても強いものになっていると思います。

医学部のカリキュラムの中で重要な位置を占めるのはやはり実習でしょう。特に解剖実習と臨床実習は医学的知識を深めるのと同時に、医師としての自覚を高めるという意味で、とても貴重な体験となりました。解剖実習で御遺体に初めて接した時、とても厳粛な気持ちになったものです。教授の厳しい顔は今だに忘れられません。査問の時、厳しく問い詰められ、すっかりしどろもどろになったことを記憶しています。解剖実習で初めてひしひしと医学部へきたことを実感しました。臨床実習では最初にまわったためか、精神科での実習の印象が強烈でした。今だに多くの社会的誤解があること、社会復帰の困難さ、医学的問題のみでなく広く社会全体の問題にかかわることが多く医師として幅広い知識が要求されることなどを痛感しました。

6年間特に後半の2・3年のスケジュールはかなりハードなものでした。普段の心掛けが良ければ試験期間中半病人の様になって試験に臨むということもないのでし

うが、それがまたなかなかうまくいきません。飽和状態の脳に無理矢理知識を詰め込み、試験が終わるとまたどんどん忘れていくということの繰り返しでした。自分の知識がいかに不確実曖昧なものであるかは、臨床実習の時、身にしみてわかりました。

大学生活の中でクラブ活動は良い思い出となりました。卓球というスポーツは、どちらかというと地味な部類のスポーツではありますが、スピード・体力・精神力すべて要求されるハードなスポーツでもあります。残念ながら私はレギュラー選手になれずに終わってしまいました。今や卓球部も30人以上の大世帯。私がレギュラーになれなかったのは当然といえば当然だったかもしれません。それでも6年になってからも東医体、北医体ともに参加しました。(卓球には個人戦というものがあります。)大学裏のいなか道のランニングも良い思い出となりそうです。卓球は試合そのものは個人競技ではありますが、団体戦で好成绩をあげるにはやはり団結力がなければなりません。医療と相通じるものがあると思います。横のつながり縦のつながりともに非常に大切なものです。

結局自分にとって大学生活が何であったのか、はっきりした結論はできません。少しずつではあるが、良い意味で医師としての自覚が育ってきたことは確かです。そして常に夢と情熱だけは持ち続けていこうと思っています。

学長が「かぐらおか」にお書きになったことですが、私たちには卒業してから一生、旭川医科大学卒という印がついてまわります。やっとなり医師としてスタートラインに立ったばかりの私たちにとって、この印が飛躍のための足がかりになるか、それとも束縛する足かせになるかは、これからの私たちの行動如何にかかわってきます。5期生の皆さん共にごんぼうろうではありませんか。

最後になりましたが、お世話になった先生方、職員の方々に深く感謝したいと思います。

(第6学年学生)

卒業に当たって



中 村 恵 子

「ああ、ようやく卒業できる！」きっと、この言葉が卒業する皆の心の中に秘められているたった一行ではありますが、重みのある感動がこもった言葉だ

と思います。入学してから6年間、様々な出来事が私自身の中を通り過ぎ、今思いおこせば、6年間が非常に長くも感じられ、また一方、ひとつひとつの出来事が、瞬時のことのようにも思います。とくに、大学2年に、父が亡くなり、母からの「留年だけは困る」のひとつ言で、それからというもの毎年、とくに進級判定の時期には、進級できるかどうか、いつも心配ばかりしてきたものです。しかし、ようやく卒業が決まり、その感動もひとし

おです。しかし、ただ毎年留年していく人の名前を聞いて「自分の名前がその中にない」ということで喜ぶのはいくら、受験戦争で味わってきたとはいえ非常に、非人間的に思われ、虚しい気持ちがあります。とくに、遊んでばかりいて、勉強に手を抜いた人が留年するのではなく、その時の試験の調子や体調の悪さで留年しなければならない医学部は、とても厳しいところだと、6年間いつも痛感させられたものです。

大学生活の6年間には、様々な印象に残る思い出がありますが、その中でとくに印象に残っているものを、ふり返ってみましょう。

一・二年生の頃は、先程述べましたように、私的なことで忙しく、大学生活自体の中で印象に残っていることは少なかったのですが、初めての大学祭では、“お茶会”を手伝ったり、スキー教室など比較的楽しい思い出が多く、また、二年生では、カリキュラムの中の暇な時間を利用して、旭川周辺の名所を仲間と見て歩いたり、臨床の科目が始まってからと比べると、随分、余裕があったものだと思います。しかし、試験の時は、二年生の頃もそれなりに、必死に勉強したのを覚えています。

三年生になると、基礎科目が始まり、特に解剖学の質問は、一生忘れられない思い出の1つです。あのやりきれない緊迫感の中で、次から次へと矢のように飛んでくる質問に、一瞬、戸惑いを隠せず、冷や汗を流したことを思い出します。

4年生になり、臨床の科目が始まり、実習ばかりで過ごしてきた日々と比べ、退屈な日々が続きましたが、4年生の試験は、臨床の科目を2週間で終えるという、いくら範囲が短いとはいえ、身体的にも精神的にも、非常にハードなものでした。

5年生では、予てより、新入部員が少なく、危機を向えつつある茶道部へ、新入生が入部してくれ、どうにか後継者ができて肩の荷をおろすことができました。

私自身、茶道部へは先輩の勧めで入部しましたが、続けていくうちに、一週間に一度ではありますが、静寂の中でたてるお茶には心をやすめさせてもらったものです。

5年生の試験が終わり、ようやく臨床実習が始まり、臨床実習では、各科目とも勉強になることが多かったと思います。様々な医学的知識を吸収することも重要なことではありますが、様々な先生方に出逢い、授業だけでは吸収することができない医者としての人生感を、お酒の席や雑談の折りに聞くことができたことは、私自身、これから医者として、人生を送るうえに非常にプラスになったと思います。

今、こうして6年間をふり返り、やはり私自身にとって、一番幸福であったことは、この5期生という学年の中で6年間過ごしてこれたということといつも励まし、助け合う相手がいたことです。入学当初から、どういう訳か「悪名高き5期生」で有名ではありましたが、クラスの中の雰囲気は、とても言葉では言い表わせない、そ

れは明るいまとまりのあるクラスでした。何かの行事が終わるとすぐ「コンパ」になり、そのコンパは、普段話す機会のない人とお互いの友好を深めるのに最適なものであったと思います。これからは、医者として、また女として、多くの難関をくぐり抜けていかなければならない者にとって、幾度かやりきれない挫折感に襲われることになると思いますが、今まで通り、希望と目的だけは一生捨てずに、自分で納得がゆく人生を送ればよいと思っています。

最後に、数々の御教示を賜りました先生方には、深く感謝するとともに、後輩の皆さん、とくに女子学生の皆さんには、厳しい医学部では、体力的にも精神的にも大変だとは思いますが、充実した学生生活を送られますよう心より応援いたしております。

(第6学年学生)

“嗚呼!! 卒業”



水本博章

長い長い六年間だった。今までは卒業といっても特に何かを感じる事は、ほとんどなかったのだが、今回は正しく“嗚呼!! 卒業”。六年目の後半に入っ

からは、もう1年やり直す羽目になったら、「こりゃもうたまらん」という一念で、ガス欠寸前の体に鞭を入れたのだが、その割に卒試ではかなり悪戦苦闘したように思う。がしかし、まずは目出度しというところである。

在学中、印象に残った事といえば、まず何といっても講義風景だった。もちろん中には先生方の名講義も印象にありますが、むしろ学生の方が、出席率抜群で、しかも、講義内容をほとんどノートし、且つ整理し、きれいである事だった。一斉に聞こえる鉛筆の走る音、初めの頃は無言の圧迫だった。小生はどちらかという話を聞いて楽しむ(決して余裕ではありません!!念の為に)やり方に慣れていて、一講義の中で「なる程なア」と思う事があればそれで満足していた。しかし、学年が進むにつれて、少々ずるくなり、泣く子もだまるという進級試験対策上、後れ馳せながら、人並みに鉛筆を走らせたが性格上どうしても話に引摺り込まれる事が多く、穴ボコだらけのノートになり、とても読み返す代物とはなり得なかった。一般的には系統講義というものはエッセンスを伝授してくれるはずであり、学問上(?)試験対策上、非常に能率的なものであるらしい。とにかく「ノートが神様」という事が定説になっている。危険な神様だ。でもないか。小生のヒガミ根性も少々入っている。

ポリクリが始まり、何かホッとすると同時に(患者に対しては不謹慎な表現だが)各科回る毎に、どの科にも興味が出てきて、半年余り、非常に楽しかった。が又、

研究室紹介

■ 放射線医学講座 ■ 菊池 雄三

当教室は昭和51年4月の発足であるから、まもなく満7年を迎える。開設当初は徳島大学より赴任された天羽教授、それぞれ英・米留学中であつた三橋、菊池両助教授の3名で教室の基礎作りが始められた。附属病院開設により、当時は月に10日づつの当直もこなした。現在では医局員も10名を数えこのような事はなくなつたが、放射線医学の分野における機器等の急速な進歩に伴い新装置の導入が相継ぎ、仕事量は一向に減る気配はなきさうである。研究体制はgeneralな、かつpracticalな臨床医の養成を目的としている事もあり、診療体制に準じて、診断、治療、核医学の三部門体制をとり、臨床的研究を主体としている。また最近は大塚教授自らの音頭にて、コンピューター診療管理システムも試みられ、それぞれの研究における資料検索や統計処理の手間を省くものと大きな期待がかけられている。以下、各部門について紹介する。診断部門は、天羽教授を中心に早坂、浅野、荒川の三助手があたっている。肝、胆、膵等の腹部臓器を中心としたCT検査を主体とし、現在慶応大学にて研修中の早坂助手の帰郷を待って血管造影の充実もはかれる。核医学部門は三橋助教授を中心に西野、吉川両助手があたり、膵疾患診断、CEA、ferritin、モノクロナールetcのradio-immunodetectionの開発を手がけ、また早くから超音波装置を導入、簡便でより正確な検査方法として症例の増加がめざましい。これら診断、核医学部門は総合画像診断上、密接な連携を持っておりdecision treeの確立をめざし、その研究成果は多数学会にて報告されている。治療部門は菊池助教授を中心に西野、高橋両助手があたり、子宮、頭頸部、悪性リンパ腫、脳、食道等広範囲の腫瘍を手がけ、昨年は新鮮例1,000例を越し、5年生存率を出すまでになっている。また研究において放射線増感剤、防護剤の開発では全国的な研究組織の中心研究にも携わり、その貢献は大きく、予後因子となる腫瘍マーカーの研究での学会発表も数多い。stuffは全体に若い自科のみならず関連するとみるや様々の科に進出する積極性も持ち合わせている。医局生活に目を転じてみると、食欲のすさまじさは特筆に値するもので、新入医局員は1年で数キロの脂肪を貯めこむはめになる。宴会ともなると2時間マイクを離さないというタレント揃いで、他科の宴会に浸潤、転移の上置き去りにされた者も居るとか。今年は摘出されるあわれな症例も出るかも知れない。しかし、翌朝起きられないと判断すると三六街から深夜のうちに医局へ出勤しておくという根性には感心する。また全員がスポーツ好きで、医局登山、医局スキー他各自テニス、卓球、サッカー等を楽しんでいる。ただ医局員が足りず、野球ができないのは残念至極である。以上のように学問自体も医局員も若い、数年先が楽しみでもある。

(放射線医学講座 助教授)

一方では、我々の受けてきた教育というのは診断の方面には非常に神経を使い、又論理的・科学的な面があるが治療、特に薬物療法に対しては、前者に比べて非常に経験的に対処している様に思えたのは小生の観察不足なのだろうか。系統講義も診断学中心で、治療はつけ足しという感もないではない。臨床薬理学的な訓練も、もっと必要だと思うが、定められた時間の枠内では無理なのか、それともそれは現場に出てから学べという事なのかそれとも体系付けられたものはないのだろうか、いずれにしても片寄っている事は事実である。

さて課外の事で振り返ってみると、教養の頃は何度か運動クラブに入りたい衝動に駆られたが、諸々の事情であきらめざるを得なかった。しかし、皮下脂肪は厚くなり、大腿は女性の様にポッチャリしてくるので、麻雀、将棋、山菜取りだけでは駄目という事になり、shape up 作戦を考えていた所、同期の球好き連中で朝野球チームを結成しようという話があり、渡りに舟だという事で丸3シーズン楽しんだ。小生も多少自信はあつたのだが、いざ投げてみると、投球に感覚と実力の解離があり球友に「本当に昔エース？」と、こきおろされながらも朝もやの中でやるのは非常に気持ちがよかつた事が印象に残っている。朝もやに包まれて散策するのは仲々、乙なものであつた。

間もなく 度目の学生生活も終ろうとしている。月並みな表現ですが、自分一人で大きくなったんじゃないという事が骨身にしみている現在では、素直に感謝の念が湧いてきます。「水本君、教育とは耐える事なんだよ」と目前で言われた某先生(あの時はさすがにガックリきた)ある時は持ち上げ、ある時はこきおろしてくれたにぎやかでコンパ好きの五期生、それに職員の方々、おかげ様で長い長い六年間、少々経済的に苦しんだ以外はイライラしながらも楽しく過ごさせていただきました。感謝しています。あまり、こういうあたり前の事を、あたり前の様に述べるのはタブーと言われていたのですが照臭いのを少し我慢して、自分の正直な気持ちを述べると、四方に向って、「ありがとう御座いました」の一言です。

(第6学年学生)





昭和57年

4月

- 9日 昭和57年度入学式（於 体育館）
 [新生120名（内女子学生15名）]
 19日 新生研修第1回目（於 第1セミナー室・第2
 20日 セミナー室・和室・一般教育会議室）



第8回医大祭



新生研修

7月

- 17日 第29回北海道地区大学体育大会
 20日 （当番校 旭川医科大学）
 〈本学参加種目〉 陸上競技(男女)・準硬式野球・
 軟式庭球(男)・バスケットボール(男女)・バレー
 ボール(男)・サッカー・卓球(男女)・バドミント
 ン(男女)・柔道・剣道(男女)・弓道(男女)・ハン
 ドボール
 〈本学参加学生数〉 176名
 〈成績〉 男子29大学中12位 女子31大学中12位

5月

- 15日 第73回医師国家試験合格者発表
 （本学合格者85名 合格率86.7%）

6月

- 17日 第8回医大祭
 20日 テーマ「新たな一歩、自分の殻を打ち破れ！」
 （大学際実行委員会委員長 向山 新）



地区体

20日 第25回東日本医科学生総合体育大会夏季大会

8月6日 (主管校 東北大学医学部)

〈本学参加種目〉陸上競技・準硬式野球・硬式庭球(男女)・軟式庭球・卓球(男女)・バレーボール
バドミントン(男女)・サッカー・バスケットボール(男女)・柔道・剣道・弓道・空手道・水泳
〈本学参加学生数〉 268名
〈成績〉 35大学中13位

8 月

1日 附属動物実験施設長に水戸迪郎教授
(外科学第二講座)が発令された(継続)

9 月

8日 体育大会(バレーボール・ソフトボール・サッカー)
主催 学生



体育大会

22日 昭和57年度解剖体慰霊式(於 体育館)

10 月

1日 第25回東日本医科学生総合体育大会冬季大会

S 58 (主管校 埼玉医科大学)

3月31日 〈本学参加種目〉ラグビー・スキー

〈本学参加学生数〉 65名

28日 新入生研修第2回目(水・土・日は除く)

11月12日(於 職員研修施設)

11 月

1日 附属図書館長に星野了介教授(物理学)が発令された

6日 第74回医師国家試験合格者発表

(本学合格者11名 合格率84.6%)

12 月

20日 スキー教室(於 北大雪スキー場)

21日 講師4名・参加学生24名 主催 厚生補導委員会

昭和58年

1 月

15日 昭和58年度大学入学者選抜共通第1次学力試験

16日 (本学会場 志願者 677名)

27日 スポーツ大会(バスケットボール・雪中サッカー)

2月1日 主催 学生



スポーツ大会

2 月

20日 旭川医科大学参与に山田守英名誉教授が発令された。

3 月

4日 昭和58年度旭川医科大学入学試験

5日 (志願者 294名)

12日 昭和58年度旭川医科大学大学院入学試験

(志願者 12名)

16日 昭和58年度旭川医科大学入学試験合格者発表

(120名)

19日 昭和58年度旭川医科大学大学院入学試験合格者発表

(12名)

25日 学位記授与式(於 第1会議室)

(学位記授与者6名)

第5回卒業証書授与式(於 体育館)

(卒業生99名)

(庶務課・学生課)



昭和57年度講演会一覧

昭和57年度本学で開催された講演会は次のとおりです。
(庶務課)

開催日	演 題	演 者	担当講座
6月10日 (木)	悪性リンパ腫について	国立がんセンター病理部第二組織病理研究室 渡辺 昌	皮膚科学講座
6月17日 (木)	アメリカ医学教育の最近の状況と問題点	聖路加看護大学長 旭川医科大学参与 日野原重明	庶務課
7月9日 (金)	ウイルス抑制因子(インターフェロン)の抗腫瘍作用のメカニズム	東京大学名誉教授 長野 泰一	細菌学講座
7月10日 (土)	悪性黒色腫と類症	金沢大学医学部教授 広根 孝衛	皮膚科学講座
8月30日 (月)	末梢組織及び中枢神経系におけるカテコールアミンシステムの発達	パリ大学博士 H・パルベ	薬理学講座
8月30日 (月)	神経伝達物質の機能と栄養因子	パリ大学博士 S・パルベ	〃
9月4日 (土)	カルシウムイオンと筋収縮	東京大学医学部教授 江橋 節郎	内科学第二講座
9月16日 (木)	フェノロサにおける社会学と美術史	追手門大学名誉教授 森 東吾	社会学
1月25日 (火)	嗅覚の神経情報処理	群馬大学医学部教授 高木 貞敬	生理学第二講座
3月2日 (水)	小児の呼吸管理について	神戸大学医学部長 岩井 誠三	麻酔学講座

学生証の査証について

新年度を迎えるにあたり、4月1日(金)から、学生課学生係において学生証の査証を行うので、学生は、必ず学生証を持参し、査証をうけること。

(学生課)

スキー教室

12月20日(月)21日(火)の両日に、紋別郡白滝村の北大雪スキー場において、第1学年から第5学年までの学生24名(男子19名、女子5名)が参加し、スキー教室が行われた。

1日目は4名の各指導員ごとに初級班・中級班・上級班(2班)に分かれ、吹雪の中それぞれ基礎から指導を受け、夜にはスキー映画に、皆熱心に目を凝らした。2日目は、絶好のスキー日和となり、技術の向上と共に自信も深まり、存分に滑り込んでいた。

(学生課)



学友会旗作成

昨年度決めましたマークをもとに、学友会では旗を作りましたのでお知らせいたします。絹の布旗で大きさは約150×100cm各種行事等に使っていただけるものと思います。なお、運動クラブの応援旗としては若干小さいので、来年度早いうちに大きめの旗を作り、それを貸出するようにしたいと考えております。

(学友会副会長 大見広規)



サークル紹介



本学には現在、体育系33、文化系29の学生団体が設立され延1,114名の学生諸君が各サークルで活動しています。

課外活動は、学生諸君の人間形成を目的として行われる正課外の教育活動であり、大学教育の中で正課教育と並んで重要な位置を占めています。

各人の適性や趣味に応じた活動を通して、自主的・創造的能力を養い、また大学社会の一員としての自覚・認

識を深める課外活動は、将来社会人として共同生活を
する時の基礎となることでしょう。

各サークルは諸君のエネルギッシュな若い力を求めています。
「これぞ」と思うサークルであなたも活躍してみませんか。

(学生課)

ラグビー部

ラグビー、貴方はこのスポーツを知っていますか。
団体球技中、最も人数を要し、頭脳を要し、体力を要する
スポーツ。あらゆる球技の要素を兼ね備えたスポーツ。
これこそスポーツの中のスポーツです。又、学生生活の中
で最も大切な人間形成・連帯感の養成にも格好なスポ
ーツです。ラグビーと言う競技について、何も知らない
方でも、すぐにその楽しさ、素晴らしさを感じ得るでし
ょう。運動不足の貴方こそ、楽しい仲間を求めている貴
方こそ、ラグビー部へ入部して、青春を燃やし尽しまし
ょう!!

(責任者 保田雅憲)

部員数	経 済	活 動
28	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	7月北海道ラグビー選手権大会 6・7月定期戦 10月東医体 旭川ラグビー協会加入



卓 球 部

卓球部は創立以来8年目を迎え、わが旭医大において
古き伝統を守る由緒正しきクラブの代表格です。

男子29名・女子10名を擁するわが部の実績は、東医体
では2年連続決勝トーナメント進出、北医体では団体・
個人・ダブルスと3種目で優勝を独占するなど、旭医の
名を全国の医学界に知らしめんがため、日夜奮闘努力し
ているものです。練習は同好会ではないので無論きびし
さは要求されますが、泣こうがわめこうがしごいてし
ごいてしごき抜く熱血根性クラブではありません。新入
生諸君、一度わが部の扉をたたいてみてはいかがかな?

(責任者 加藤直樹)

部員数	経 費	活 動
38	会費 必要など、 2,000円徴収 遠征費自己負担	7月～8月東医体男子団体7位 7月～8月全道 学生卓球大会秋季リーグ男子4部昇格 8月～9月 北医体男子団体優勝、個人戦優勝・2位 ダブルス優勝 女子団体4位、 個人戦3位、ダブルス3位 全道学生卓球連盟



陸 上 競 技 部

陸上競技、それは人間の能力の限界への挑戦である、
と言われます。本当に世界のトップアスリートの走る姿
には美しささえ感じます。陸上競技のおもしろみと言え
ば、自分の記録が練習をすれば伸びることでしょうか。
けれど、強くなるためには日頃の練習が必要です。そし
て、練習を積み重ね自分の記録が伸びた時の喜びはまた
格別です。いっしょにグラウンドの上で、いい汗をかきま
せんか。

陸上部の今年の目標はやはり東医体優勝です。練習は
あくまでも自主性にまかされています。では、新入生諸
君、陸上部は君達を待っています。(文責 三宅博久)

部員数	経 費	活 動
12	会費 月額1,000円 遠征費・協会加 入費・大会参加 費自己負担	7月～8月北海道学生陸上競技選手権出場 7月 地区体8位 7月～8月 東医体総合3位 7月～8月北海道選手権 8月中部北海道選手権 全国学生陸上競技協会他加盟



ス キ ー 部

☆❄️❄️❄️残雪白き大雪山のふもと、美瑛川の清らに流る
神楽岡の旭川医大にも漸く春が来て、あの寒い日々や大
量の雪も嘘のようです。but、しかし、その厳寒を突き
吹雪で真白くなってその辺をしゃっしゃっ走り回っ
ているのがディスタンス、スキー場でしつこく滑って
いるのがアルペンなのです。どうせやるからには勝たなき
ゃ損と言う訳で、本名は「Racing ski team」となったり
します。長い冬(約半年!)を下宿で縮こまって過すてはな
い。スキーが始めてのアナタも、得意なヒトも、ボクラの
楽しいスキー部に来てね! (特に求む女子部員)

(文責 浜口千佳子)

部員数	経 費	活 動
27	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	5月 北医体 6月 道医体(春季)優勝 7月末 地区体・東医体 道医体(秋季)



バスケットボール部

この1年間のバスケット部は、本業としては、男子部北医体3位入賞、東医体ベスト8進出(無念、予定は優勝だったのに…)、女子部は東医体での3位入賞、などである。また副業としては、校内ソフトボール大会優勝、富良野へのスキーツアー(ただし雨に降られた。)等、楽しさいっぱいでした。練習は少々きつく、深川での合宿などはハードでしたが、ビデオなどをフルに活用して楽しんでいます。やさしくて、おかしい(?)先輩が26人もいるこのクラブに、あなたも参加してみませんか?

なお、女子マネージャーも募集しております。

(責任者 菅原 修)

部員数	経 費	活 動
26	会費 月額 500円 遠征費自己負担	%~%北医体(山形)男子3位 %~%地区体(男子3回戦・女子2回戦) %~%東医体(男子ベスト8・女子3位) 旭川バスケットボール協会



空 手 道 部

まずは昨年度の我が空手道部の成績をみてもらいたい。はっきり言ってみんな予想外の成績に驚くであろう、しかし、これはかなり不本意な成績である。一昨年は道の大会はほとんど全て4強入り、その前年には個人戦において、全道2位を獲得した先輩がいる。これらは全て、昼休みの40分間の練習の成果である。みんな苦しい時、生き残るのは気力と体力のあるものだ。(テストは体力だけ)

そのためにも何か1つスポーツは絶対にやるべきだ。空手道部が最良とは言わないが少しでも興味のある人は昼休み武道場に見学に来てくれ。ジャズ研もよろしく。

(責任者 木村 淳)

部員数	経 費	活 動
19	会費 月額 700円 遠征費・合宿費 など自己負担	% 北海道空手道選手権旭川大会 個人戦優勝・3位・4位 % 東医体 %北海道空手道選手権旭川大会 新人戦・個人戦4位・団体戦2回戦出場 全日本空手道連盟・和道流空手道連盟・北海 道空手道連盟他加入



柔 道 部

柔道とは、肉体を鍛えるのみならず、精神をも鍛えるスポーツである。従って、最初は軟弱者でも、1年たつと、肉体的にも精神的にも素晴らしい人間に生まれ変わる事ができる。練習は週3回、密度が濃く効果的に行なわれている。行事としては、春の合宿、三校対抗戦、東医体に参加し、又昇段審査にも毎回チャレンジしている。それに、コンパもしばしば行なわれ、先輩・OBとの交流も深められている。以上、簡単に紹介をしたが、やはり一度練習を見に来てほしい。

(未経験者歓迎!特に女性大歓迎!)

(責任者 岡田力哉)

部員数	経 費	活 動
10	会費 無料 遠征費自己負担	三校対抗戦(旭医・北医・札医) 東医体 個人軽量級ベスト8進出(川端)



サ ッ カ ー 部

世界のサッカー人口は数千万とも数億とも言われ、世界中の人々に最も親しまれたスポーツの1つとなっています。サッカーは一つのボールを足だけで相手のゴールに

入れるという、極めて単純な発想から生まれたものですが、simple なだけに奥の深いものなのです。創造力・判断力・予測力は他のスポーツに類をみないものがあります。そして、イレブンで力を合わせて点を奪った時の感動!!それがあのワールドカップで世界中の人を魅了した理由なのでしょう。サッカーに少しでも興味のある君、一度グラウンドに足を運んでみよう。!!

(責任者 石井良直)

部員数	経 費	活 動
25	会費 年間5,000円 程度必要な 徴収	8月上旬 東医体3回戦敗退 5月~7月 旭川市社会人リーグ2部優勝 7月 地区体 6月~10月 全道学生リーグ5位 日本サッカー協会・全日本大学サッカー連盟 他加入



バレーボール部

本学の他のクラブの学生から「田舎くさい」であるとか「どんくさい」「下手くそ」などと罵倒され、時にはバスケット部員からも「うちのクラブのやつの方がバレーはうまいぞ」と嘲笑されても私達は必死になってやってきた。私自身、はっきり言ってこのクラブは強いとは今は思っていない。然し実力は確実に蓄積されつつあると思っている。この実力をいかに試合で発揮するかが現在の問題である。クラブの為にやや自分のしたいことができないこともあるが、その状況の中で先輩後輩が一致団結して練習し、学業と遊び(?)を両立(?)していくことに意義があると思っている。クラブの人間は時に暗い人間や変態じみた者も居るが全員が各々思いやりがあり、面白いやつばかりです。我がクラブの目標は、再び東医体を制覇することで、その最後の試合で、最後の笛が吹かれた時我々が勝利者であることを我々は信じている。

(責任者 高草木薫)



部員数	経 費	活 動
16	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	5~5% 春季大学バレーボールリーグ(四部)2位 7月中旬 地区体 7月下旬東医体ベスト16 5~5% 秋季大学バレーボールリーグ(四部)2位 全国学生バレーボール協会・北海道学生バレーボール協会・旭川バレーボール協会

剣 道 部

新入生の諸君、難関を乗り越えての御入学おめでとう。ここで旭医で唯一の輝かしい伝統を誇る、剣道部、の入部を勧めます。

剣道で重要なのは、技術うんぬんもさることながら、相手を圧倒するような気合つまり気力です。これにひいて出ている人は強い。

旭川の厳しい気候にあってこれを乗り切って医学を学んでいくには、体力はもちろんのこと、気力、つまり精神力がなければいけません。

この精神力を養うためには、剣道、は絶好のスポーツなのです。

我がクラブは、部員32人の大家族ですが、今までは体育館の二階の物置き(?)で、ボチボチと活動してきました。しかし、新しい大きな武道場もでき、今年度からはのびのびと練習できます。

つまり、今年度入部の1年生は、輝かしい新武道場の若きホープとしての地位をほしいままにできるのです。段の有無を問わず、ぜひ、剣道部、へ!!

最後に、剣道部には強力な「えらい先生、がいらっしゃることもお教えしましょう。

(責任者 福澤 純)

部員数	経 費	活 動
30	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	北海道地区医学部対抗剣道大会 団体戦・新人戦 優勝 北海道地区医歯薬大学剣道大会 団体戦2位 個人戦優勝 東医体ブロック3位・地区体ブロック2位 学生剣道連盟・旭川剣道連盟加入

山 岳 部

旭川に来たからにはスキーをしたいと思っているあなた、山登りをしたい、釣をしたい、水泳をしたい、勉強をしたい、××をしたいと思っているあなた、さあ今すぐ山岳部に入ろう。ミーハーの笠原が待っています。ダイビングの得意な岡島が待っています。太った方も心配りません島谷がいます。勉強の好きな方、まかせて下さい○ン○ンの郡司氏、小黑氏がいます。落ちこぼれの酒井もいます。女性の好きな方、美しい岡本さんも待っています。これで君の入部は決定!!明日のアウトドアライフをクリエイトする山岳部の提供でした。(責任者 島谷尚樹)

部員数	経 費	活 動
12	会費 月額 200円 遠征費(食費・自己装備費等) 自己負担	5~5% 春山合宿(山スキー) 7月 夏山合宿(沢登り) 12月 冬山合宿(山スキー)



弓道部

実に気持ちのよいものですよ。矢が的にあたった時は。やっぱり、あたらないと面白くないです。弓のcore となるのは的中ということだと思います。言うならば、本能ですな。でもそれだけじゃ猿でしょう。弓道を弓道たらしめているもの…。私とっしょに考えましょう。

なんと本学には弓道場があります!!さらに当道具具に関する費用はなし。初体験の方大歓迎。師範教士六段萬上義守先生他きら星の如く並ぶOB諸氏。コンパ年数回他行事多数。進級に関する資料豊富。とにかく一度道場にお越し下さい。あっ!!マネジャーも募集してま〜す!!

(責任者 小村 好弘)

部員数	経 費	活 動
25	会費 月額1,000円 遠征費・冠婚葬 祭自己負担	1/6 地区体 2/6-5/6 東医体 6/6-7/6 争覇戦 旭川弓道連盟・北海道学生弓道連盟・ 全日本弓道連盟



大東流合気武道クラブ

合気道——聞いたことは誰にでもあるでしょう。でも見たことはない人が多いはず。大学に入った機会に、この武道を身につけてみませんか。肉体的な力は要求しません。お金もかかりません。護身術にも最適です。この武術には型があって、初めはとても難しいのですが慣れるにつれて、その合理的構成に感動することでしょう。

あまり大きな部でも派手な部でもありませんが、部員は黒帯五人、他の十人は全部茶帯と敏腕揃い。偉大な武道精神と狂気の宴会があなたをお待ちしております。

尚、ジャズ研もよろしくとのこと。

(責任者 玉川 進)

部員数	経 費	活 動
13	会費 必要なつど徴 収	7/6 北海道学生合気道大会参加 8/6 大東流合気武道演武大会団体賞



軟式庭球部

北海道のY子、18才からの質問。「私、毎日暇をもてあまして欲求不満なの。このままじゃどうにかなっちゃいそう。何とかしてよ。」「どうにかなっちゃうってどういうこと?」「毎晩、自分の部屋で鍵をかけて…。」「そう、毎晩…、それは何かスポーツをすれば解消できると思うよ。」「スポーツって、私スポーツうんちなの。私にできるスポーツ何かないかしら?」「そうだね、手軽にできるスポーツっていうと……、そうだテニス、それも軟式テニスをすればいいよ。」「軟式テニスって、そんなに手軽にできるの、軟式庭球部に入ろうかしら。」

(責任者 吉田行範)

部員数	経 費	活 動
15	会費 必要なつど 2,000円徴収 遠征費自己負担	8/6 旭川地区大学対抗戦4位 9/6 地区体1回戦敗退 10/6-11/6 東医体予選リーグ4位 旭川軟式庭球協会加入



硬式テニス同好会

新入生の諸君!入学おめでとう。テニスをしたと思っていませんか。僕たち硬式テニス同好会では、週2回の練習と、その他の空時間を利用して、好き勝手にテニスをしています。先輩・後輩関係なく、楽しくテニスをしましょう。優しい先輩たちがテニスを教えてあげます。男女を問わず、ぜひ入会しましょう。楽しく練習しているだけでも必ず上手になれます。冬は温泉に行きましょ

う。合宿もあります。(旅行)

だから入って——ノ

(責任者 矢沢和人)

部員数	経 費	活 動
45	会費 年額1,500円	合宿あり



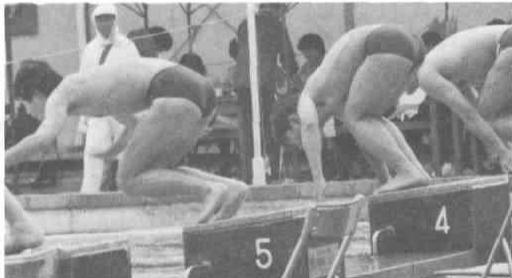
水 泳 部

昨夏の東医体のことだった。「第4のコース、〇〇君旭川医大」のアナウンスに、僕の隣りで応援していた女性が思わず「えっ、アサヒカワ? 遠い所からよくまあ。寒くて練習できるのかしら」とつぶやいた。頭にきて大学名を尋ねたら、なんと筑波大学。関東の下田舎、筑波のカッペ女に斯くの如き発言をする資格はないノ新入生諸君ノ今年の夏は大学してプールサイドに押しかけ、筑波大をコケにしてやろう。次期主将候補の石井も「酒を断って頑張ります。」と頼もしい発言をしている。水泳部の未来は明るいノ

ちなみに女性部員もいます。各種コンパ、スキー旅行も実施しております。

(責任者 川田和昭)

部員数	経 費	活 動
20	会費 年間2,500円 遠征費自己負担	7月 東日本医科学学生体育大会



白い恋人(基礎スキー&山岳スキー同好会)

早いもので同好会発足後3年を迎えようとしています。当初は「仲間うちだけの同好会、といった性格のものだ

ったのですが、今では会員数も50名を越え、着実に成長しつつあります。現在基礎スキー検定1級保持者3名、2級保持者は13名ですが、当同好会では、技術向上というより、むしろスキーの楽しさ、自然のすばらしさを知り、ひいては自己の人間性を養うこと(カッコよすぎる?!)を最大の目標としています。そんなわけで会員は老若男女、上手下手さまざまです。ただ皆スキーが好きで好きでたまらないといった連中ばかりで、仲間同志では「スキー病」と称しているほどです。

シーズン中は水曜、土曜の定期練習のほか、合宿(夏には夏スキー合宿も)を行なっています。粉雪あげての新雪スキー、華麗(?)なチームスキー等々、メンバー全員文字通り「白い恋人」になりきっています。春には数回の山スキーツアーを予定しています。その頃、雪焼けて白い恋人から黒い恋人に変身していることでしょう。

以上できるだけカッコよく「白い恋人」を宣伝してみました。

(責任者 武田寛樹)

部員数	経 費	活 動
58	会費 無 料 遠征費自己負担 1回20,000円程 度	1/6~1/6 糠平スキー合宿 7/6~7/6 赤岳夏スキー合宿 5/58 1/6~1/6 富良野スキー合宿

写 真 部

私が大学の写真部に入って三年間も終わろうとしている。高校からの続きのつもりで入ったのだが、驚いたのは、大学の写真部に入ってから暗室作業を覚え始めた部員が半数ほどいたことだった。それでも、学祭前など食料や寝袋を暗室に持ち込んで、24時間体制で焼き上げた後、暗い暗室から輝かしい外界へ、またよとはいずり出たりしているうちに、暗室作業のひとつは覚えてしまう。

なにせ、カメラを持てば傍観者、暗室に入れば夜行性となるので、それを好んでか自然にそうなるのか、どの学年の部員を見ても、私以外みんな異常性格者いや、個性の強い人間ばかりである。モードとなると、モードラを使う人より多量のフィルムを撮り尽し、モードラ不要を寡黙に実証する者、ラグビーの手ブレを専門に撮る者写真は焼かずに器具を壊して会計がまっ青になるのを楽しんでいる者など、個々気ままにやっている。このように、個人の自主活動が主体のクラブです。

(責任者 中里友彦)

部員数	経 費	活 動
22	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	1/6~1/6 道南撮影旅行 1/6~1/6 秋の写真展 旭川キャンクラブ年度賞(岡田) 北海道写真連盟出品(服部・岡田)

医 療 研 究 会

新入生のみなさん入学おめでとう!! 医療研は今年で創

部10年目を迎えます。その間私達は、医療の現実の姿とは、またそこで抱える問題とは、さらに地域医療のあり方とは、などといった問題に一貫して取り組んできました。毎年夏休みには、道北各地で社会学的調査と検診を組み合わせたフィールドワークを行っています。このフィールドワークこそ、住民の方々と交流する中で医療のあり方を模索する、私達の活動の源です。また、週1回の学習会では、医療問題を中心に身近な問題に至るまで、(?)活発な議論を行なっています。ともあれ、まずは部室(第4セミナー室)に顔を出してみてください。

(責任者 鈴木和仁)

部員数	経 費	活 動
30	会費 無料 月額 300円	%~%第8回医大祭医学展 「旭川における地域医療とは」 %~%第25回全国学生ゼミナール 地域医療分科会(於 愛媛大学医学部)



医学文の会

医学文(さじき)って何ですか、ひょっとして酒を飲む会ですかなどという質問をしばしば受けますが、一応文芸部と称し、目指すところは文芸活動です。でも、酒を飲む会でも結構です。つまり、プラトンの饗宴の世界を連想していただければよいのです。寛いで酒を飲み歓談する世界です。そんな中からこそ彼らは偉大なる思想を生み出し得たのですから。医学文の世界もこんなものだと思って下さい。そして、人間の直面する生と死の問題、その前提となる愛と性的問題などについて一緒に語り合えたらと考えています。

(責任者 石井昭広)



部員数	経 費	活 動
21	会費 無料 例会費用など自己負担	9月棧敷12号出版 月1回の定例読書会開催

将 棋 部

「将棋部(顧問 上口先生)」

『吹けば飛ぶような将棋の駒に〜』という歌が第6セミナーから聞こえてくる。そうです。将棋部なのです。将棋を指している時のまじめさの反動のせい、私生活(?)はバラバラなのです。活動は昼休みのみですが、2人そろえば、講義が終わった後も指しています。わが将棋部の特長は、ひとりひとりの個性が非常に強いということです。としちゃんの歌をいつも歌っている小林氏、詰将棋の岡本氏、ひげそりあとの青い川端氏、聖子の××流高橋氏、紳士の山田氏駒は必ず自陣に打つ増川氏、とにかく攻める有岡氏、本にない手は悪手とのたまう佐藤(菊)氏ただ1人振飛車党の鈴木氏、前進する受けの興水氏、そして若き太陽こと山口氏。以上部員を紹介しましたが、将棋の好きな方は、是非、あの真紅の歩のトレーナーを作った将棋部へ入部して下さい。

(責任者 山口 亮)

部員数	経 費	活 動
	会費 無料 遠征費自己負担	5%~%全道学生将棋春季大会団体戦 * 全道学生将棋春季大会個人戦2位岡本 10月全道学生将棋秋季大会 全道学生将棋連盟加入



J A Z Z 研究会

Jazz 研究会は、Jazz から Rock にいたる幅広いジャンルにおけるインプロビゼーションの楽しさを追求しています。また Now な感覚で個人技術やバンドとしてのまとまりを考え続けています。新入生の皆さん、音楽を enjoy しながら我々とともにハイセンスに、生きましよう。年10日以上コンサートを続けるためにも!! ゼビ気軽に、音楽に興味があるのなら、声をかけて見てください。そこであなたは新しい物を見つけるでしょう。合気道もヨロシク!! 空手もヨロシク!!

(責任者 藤田 勉)

部員数	経 費	活 動
15	会費 月額1,000円必 要なつど1,000 -2,000円徴収 遠征費自己負担	% 宮野ヒロキ (プロ) の前座 %~% 富良野・留萌経済コンサート s 58% 成人式で演奏



ギ タ ー 部

設立以来五年目を迎えた我が部は、一昨年度までの部員減少に歯止めをかけることが可能となり、現在では安定した活動内容を維持している。アンサンブルとしての活動を行うための最低限の人数を確保することは、当大学も含めて全道学生連盟加盟大学どこの部でも一番の悩みとなっているが、当大学に於いてそれを解決してくれたのは昨年度入部した7人ものパイタリティー溢れる新入部員であった。皆初心の者であるが、この1年間の上達は彼らの情熱を示していると言えよう。

我々の具体的活動であるが、週一度講師を招いての合奏を中心として、独奏は個人に任せられている。初心者には講師の手ほどきをお願いするが、ほとんど強引に各パートへ送り込まれる傾向があるようである。発表の場としては、学連の定期演奏会、講師の方が開かれる教室でのアトホームな演奏会などがあげられるが、今年度我が部は初めてのコンサートを7月に企画しており、現在はそのに向けて曲を仕上げるよう皆頑張っているところである。

最後に男子9人・女子3人の現状を愁い、より多くの女子新入部員の切望があることを付け加えておきたい。

(責任者 小沢幸彦)

部員数	経 費	活 動
12	会費 約1,000円必 要なつど徴収 遠征費自己負担	6月学連新歓コンサート % 学連定期演奏会 宮田摩ギター教室・北海道ギター連盟

聖 書 研 究 会

聖書は不思議な書物です。最古の部分は三千年以上前最新の部分でさえ二千年近く前に書かれながら、現在でも世界中で千六百の言語で訳され、年間2億冊以上も売られています。私たち日本人でも、歴史の中のキリスト教史といった形で、思想・文化・科学に与えた影響は知っていますが、聖書自体の主張については部分的、ある

いは表面的にしか知らないのではないのでしょうか。その中には人間の尊厳や生きる意味など、医学を学ぶ者として示唆される所があるばかりではなく、あるいはそれ以上のものを見出されるでしょう。お気軽に御参加下さい

(責任者 中村文裕)

部員数	経 費	活 動
8	会費 無 料	週1回の聖書研究会



ブラス・アンサンブル

金管の深く響く音色は中国4千年の響き、天には竹林寺、地には少林寺、今よみがえる幻の音。お客様にも聴かせられる音楽です。さて、管楽器はバロック時代より常にその音楽形式を象徴する使われ方をしてきた。フルオーケストラの音楽がクラシックの主流を成す現在、管楽器だけの素朴な音楽が脚光をあびています。市内でも唯一のブラスアンサンブルとして発足した我がサークルも現在では看護学生の参加を得、ブラスバンドとしてより幅広い活動を行っています。あなたも管楽器を通して中国4千年の響きを味わってみませんか?

(責任者 豊田典明)

部員数	経 費	活 動
16	会費 月額1,000円 楽譜代 年額1,000円	6月 学祭コンサート 9月 ①今井アパート前演奏



アマチュア無線同好会

うちのクラブでは、コンテストへの参加を中心に活動しています。コンテストとは、一定時間内に交信した局

数に交信した国の数や県の数を乗じたポイントを競う競技です。他に、外国局との交信や、アンテナの製作などの技術的なことにも手を出しています。こんどマイコンを使ってテレタイプでもやろうかなあと考えています。興味をお持ちの方は、第6セミナー室の窓ぎわのところまで是非どうぞ。

(責任者 柳谷仁志)

部員数	経 費	活 動
10	会費 年額3,000円 必要なつど徴収	%-1% ALL JAコンテスト % ALL JA8コンテスト %-1% 全市全都コンテスト道内5位 日本アマチュア無線連盟

「かぐらおか」表紙写真募集中!

本誌「かぐらおか」の表紙写真が第36号よりカラー化されることになりました。学生・教員の皆様から募集をしています。応募数が大変少ないので気軽にどンドン応募してください。作品はサービスサイズからキャビネ判までの写真裏面に学生証番号(教職員にあっては所属)、氏名、題名を記入し、学生課学生係に提出してください。出品作品は原則として返却しないのであらかじめ御了承ください。なお写真採用者には謝金を支給します。その他、不明な点等は学生課学生係までお問い合わせ下さい。

(広報誌編集小委員会)



思いつくままに——その3

巖窟王

専門書は別として、私の最も好きな1冊の本といえば、フランスの文豪 Alexandre Dumas (1803~1870) の「Comte de Monte-Cristo モンテ・クリスト伯」を躊躇なしにあげる。いや、原作を黒岩涙香が翻訳した「巖窟王」をあげるという方が正しい。ほかの訳者のものも読んでみたが、無味乾燥な翻訳を終章まで読み通す忍耐力をもたなかった。ある文学全集の1冊に載っていた巖窟王を初めて読んだのは中学生のころである。多くの愛読者をもつこの小説は、あえていえば、無実の罪に陥れられた1人の少年が、自分の生涯をかけて遂行しようとする単なる復讐の物語にすぎないが、黒岩涙香の力強くかつ流麗な文勢の魅力は、ほかの出版社がだしている訳本の比ではない。

ところで、初めて手にした全集の巖窟王は、何人かの友達に貸しているうちに誰かが紛失してしまった。しかし、幸いにもある出版社から復刻版がでて早速買ったものの、不思議なことに、これも友達の手を渡り歩いているうちに行方不明となった。3度目は東京の古本屋で偶然にも件の全集を発見し、ホテルに戻って本代をポケットに再度訪れたところ、好事家もいるもので既に売っていたのには驚いた。ところが、私も以外に運の強いところがあった。数年前、札幌の友人が健康上のことで相談に来た時に、上のような話をしたのが幸運のきっかけで、彼の知り合いが持っていた巖窟王の初版本を、私のため

に譲り受けてもらったと知らせてくれた。それが現在私の本棚で燦然と(?)輝いている巖窟王であり、これまでの経緯に懲りたので、今後は誰にも貸すまいと心にきめた。

さて、前置きが長すぎたが、この小説の中に精神科医にとって実に興味深い人物が登場する。かってナポレオン党の勇者であり、今は全身不随で横臥したままの「野々内弾正」がその人である。彼は、野心家蛭蜂検事の実父でもある。この野々内弾正老の状態を原文のままかいつまんで紹介すると、「十年ほど前に急激な中風症に襲われ、手も足も口も利かず、身体中で唯動く所は眼だけです」「身体が利かぬだけに一切の働きが総て眼へ集まったのだと医者が言ひます。喜びも悲しみも其他心配や安心などを総て眼へ現わします」「然りと云ふ時には、静かに両の目を閉じて安心の状を示すのだ、否と云う時には忙しく瞬澄するのだ、其外に右の目のみを閉じると、左の目のみを閉じると都合四個の符牒が有る。」したがって、家人の協力次第では意思表示が十分に可能であり、決して植物人間ではない。そこで、この老雄は孫娘華子の助力を得て遺言状を作ろうとする。つまり、「華子は気転を利かせ、自分の口で母音の五文字を徐々と繰返すとO(オー)の字に到って又眼の言葉が有った、今度は更と字引のNOの部で順に一字づつ指さして行くとNO-TARYの語に及んで留まった、是れは公証人という心なのだ」「全身不随、口さへ利けぬ人が、遺言状を作るとは空然の奇観である。」

もはや気付かれたであろうが、この病像こそまさに「とじこめ症候群」そのものであり、1971年ごろからにわかにな注目されるようになった症候群である。この作中人物が、Dumasの空想で書かれたとは到底思えない。恐らくは、とじこめ症候群の患者を目の当たりにしてその症状を克明にとらえ、登場人物に仕立てたに違いない。Dumasが今から110年以上も前に生きた人であることを思えば、その非凡な観察力に感じ入るほかはなく、私も医学研究者の末席をけがす身として、「巖窟王」がますます好きになるのである。ちなみに、初版は昭和4年11月に発行され、定価は1円80銭。明文館書店(東京)からのものである。(精神医学講座 教授)